

令和3年度 越前市味真野小学校スクールプラン

教育目標

校庭の桜のように、元気で優しくたくましい味真野の子を育てる

めざす子ども像

○よく考え、進んで学ぶ子 ○みんな仲良く、優しい子 ○健康でたくましい子 ○最後まで取り組む子

重点目標

確かな学力の向上

○対話を通して学び合う児童の育成
○児童が主体的に参加する授業の推進
○学力の土台となる言語能力の向上・読書活動・NIEの推進

豊かな心の育成

○自己肯定感・達成感・充足感の醸成
○人権を尊重した、温かい人間関係づくり
○プロジェクト型活動の推進
○夢や希望を持ち、その実現に向け、最後まで諦めずに取り組む態度の育成

健やかな身体の育成

○生涯にわたり健康な生活が送れるような規則正しい生活習慣の確立
○体力向上の推進
○危機回避能力の育成

地域と共にある学校

○地域の未来の姿を見据えた地域と連携した学校づくり
○主体的に地域社会と関わろうとする態度の育成
○地域の資源活用の推進
○地域と連携した安全・安心のための取組

本年度の主な取組

○「表現」を意識した課題や発問を通して、自分の思いや考えを的確に伝えるための手立てを工夫する。
○よく考え、よくわかり、新たな発見と驚きを見つけることができる授業作りを行う。
○ICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを行う。
○読書活動の時間を確保するとともに、家庭での読書推進を保護者に働きかける。
○新聞を活用した学習等により、書く力・伝える力・言葉の力・社会性を伸ばす。

○学校生活全般において人権意識を高め、規範意識の向上が図られるような機会を増やす。
○学校内外での交流活動や縦割り班活動を通して、児童同士が関わる機会を増やす。
○「いつでも、どこでも、誰にでも」明るいあいさつや声かけができる児童を育てる。
○教育相談体制の充実により、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決に努める。
○道徳や学級活動等を通して、自己有用感を高めると共に、自分の将来について考え、夢を抱く児童を育てる。

○スマイリーカードの取組の継続により、望ましい生活習慣を定着させる。
○ボールなどの道具を増やし、クラスや委員会での体を動かす遊びを奨励し、活動する意欲を高める工夫を行う。
○交通安全教室、避難訓練の計画的実施と実効性のある訓練を通して、児童の危機回避能力を高める。
○情報モラルやネット社会の危険性について学ぶ機会を増やす。

○地域の人材や地域の特徴を生かす取組を、計画的に実践する。
○便り・HP等で情報を積極的に発信して、保護者や地域に学習活動を伝える。
○地域のボランティアの協力を得ながら、地域社会への貢献を行う。
○情報モラルを意識し、家庭と連携して「わが家のインターネット10カ条」を推進する。

数値目標

○情報を整理し、自分の考えをわかりやすく伝えるためにまとめられる児童【80%以上】
○授業がよく分かり、基礎的な学習が理解できている児童【80%以上】
○読書活動・NIEを推進する教師【90%以上】

○他の子を尊重し、仲良く助け合おうとする児童【90%以上】
○自分から先に大きなあいさつをし、感謝の言葉を素直に伝えられる児童【90%以上】
○学校へ来るのが楽しいと感じられる児童【90%以上】

○早寝、早起き、朝ご飯、など基本的な生活習慣を守っている児童【90%以上】
○進んで体力向上に努める児童（マラソン、縄跳び、体を動かす遊び）【80%以上】
○感染症に関する健康観察、予防に関する指導、心のケアに関する指導の徹底【教職員100%】

○地域の良さを活用した取組を計画的に取り入れる教師【各学年1教材以上90%】
○学校の教育方針や児童の様子、取組を理解している保護者【80%以上】
○「わが家のインターネット10カ条」について家族で話し合い、守ろうとすることが出来たか。【80%以上】

校内研究では次のテーマのもとに教材研究を深め、指導力向上に努めます
研究テーマ

「きたえよう発信する力 ～思いや情報を的確に伝えられる子～」

「学校における働き方改革」に関して次のことに取り組みます

- ① 教職員がワークライフマネジメントできるような職場環境を構築する。
- ② 校内に蓄積されている教育資源の共有化を図り、業務の一層の効率化を図る。
- ③ 水曜日をノー残業デーとし定時に退勤、その他の曜日でも遅くても19時までには退勤する。
- ④ 県公務支援システムの積極的活用による事務の効率化を図る。